

# あらぐさ



福島原発事故以来の節電モードの中で、猛暑に耐えながらの夏も、暦の上では早9月を迎えている。今年も8月6～9日に行なわれた長崎の原水爆禁止世界大会に1年生2人を代表として送った。この運動は、毎年本校の学生自治会の活動として位置付けられており「看護師を目指す看護学生として平和はなくてはならない必須な環境である」として、自分達が行動で示すことが出来る活動として取り組まれている。代表者は立候補制で、決まるまで千羽鶴つくりや、カンパ活動が行なわれる。協賛する教職員手作りの「9条カレー」を300円で購入して会食しながらの学生全体集会も行った。今年も、東日本大震災後の福島原子力発電所の事故で、放射性物質が外部に放出される日本の災害史上、類を見ない深刻な災害が起こった年の大会であった。

改めて放射線被爆の恐ろしさが国民の前に知らされ、65年前の広島・長崎の原爆投下の問題だけでなく、現在のエネルギー問題を真剣に考える必要性も、私達一人一人

に教えてくれた大会だったのではないかと思う。

参加した2人の感想からは、世界中から集まった多数の平和を願う人たちと共有した、熱い思いが伝わってくる。そして、「何かし始めなければ何も始まらない」と若者らしい感想に、参加出来なかった学生や教職員も励まされている。

副学院長 三浦昭子

## 原水爆禁止世界大会に参加して in 長崎

私は原水爆禁止世界大会に行く前から中学や高校で原爆のおそろしさについて学んだことがありました。しかし、どこか自分のこととして受け入れられていませんでした。「もう終わったことだから」「これから原爆が落ちるわけじゃないし」と知識はあるのに自分の中で一線引いているような感じがありました。しかし今回、実際に被爆した人たちから話を聞いたり、原爆資料館を見学したりするなかで、痛々しい惨状や目をそむけたくなるような傷を多く見聞きました。とてもリアルで想像力を掻き立てられました。とてもかわいそうだと思ったし、恐怖を感じました。そして「原爆」や「核」が少しずつですが、身近に感じられるようになってきました。そして、「原爆に反対」という自分の考えを持つことができました。

原水爆禁止世界大会には学生の交流会が多く設けられていました。その多くの人が原爆に反対する気持ちを持つだけでなく行動にうつしていました。私はそんな姿を見て、感心すると同時に「自分も何かやらなければ」と思いました。原水爆禁止世界大会に参加していた人々のように他人に影響を与えるような活動はまだ私にはできません。しかし、署名をすることならできます。0は100個でも0だけど1は100個集まったら100になります。これから自分にできる活動を模索していきたいと思っています。

原爆の問題についてだけでなく、さまざまな事について自分の考えを持つ事がとても大事だと思えました。問題から逃げずに向き合い、知識を持って自分の考えを持つことの大切さを学ぶことができました。原水爆禁止世界大会は忙しかっただけど、とても有意義な5日間になったと思います。

共立高等看護学院 1年 杉本 哲也



## 1年生コーナー

おおいに学んだ前期、

後期でのさらなる成長を

入学して6ヶ月が過ぎました。この間には入学式、グループダイナミックスセミナー、キャンパス、球技大会、中間テスト、校内演習で看護技術を学び、そして初めての基礎Ⅰ実習と盛りだくさんの半年でした。

新しい仲間との交流の楽しさや、看護を学ぶ意味、人に関わる難しさ、実習を通じて感じる自分の無力さ、など33期生は看護学生として様々な経験をしながら多くを学んでいます。4月に入学した当初と比べ、前向きに努力し、苦悩や葛藤を繰り返しながら大きく成長している事を実感し、担任として嬉しく思っています。

看護学生の過密なカリキュラムを進めて行く中では、ご両親の支えがあって学生生活があると思います。また、家庭と学業を両立させながら奮闘している社会人学生にも、ご家族の協力が様々な場面で感じられます。

33期生は今、これまでの経験を明日の力に変えて、2度目の実習である基礎Ⅰ(2)実習、期末試験に挑んでいます。大きく成長していく学生を、これからもご家族の方と共に応援していきたいと思っています。

1年生担任 中込英利香

## 2年生コーナー

大きな山場

後期の実習に向けて

2年生になって初めての病棟実習(老年Ⅰと保育園実習(小児Ⅰ)を6月〜7月にかけて行いました。老年Ⅰ実習を経験し、「患者さんに必要な援助はなにか?」「その根拠はなにか?」など「その患者さんに合った看護とは・・・」ということを考える事ができました。また、保育園実習では子供たちのパワーに圧倒されながらも積極的に関わり、他者の気持ちを理解することの大切さや、気持ちに寄り添うことで信頼関係が築ける事など、看護にも通じる人と関わる際の姿勢について改めて考えることができていました。さらに実習後の7月14日には台風が接近している中、早朝から労働体験実習が行われました。小雨という天候の中で作業は大変だったと思いますが、働くことの大変さを知り、疾患を抱えながら労働している方々を捉えることができました。

さて、今後2年生は、学院祭・球技大会など学校行事の運営の中心的役割を果たすこととなります。また、後期の実習では10月〜2月までの4カ月の長期の実習も開始されます。初めての長期実習に戸惑うこともあると思いますが、この実習を乗り越えてまた一回り大きく成長した2年生に出会えることを楽しみにしています。

2年生担任 成島美里

## 3年生コーナー

一つひとつの出会いを大切に

最後の集大成に突入

3年生は前期、精神、地域看護学実習などを通し、病棟にいる患者だけではなく地域で暮らす対象者に出会い、患者の生活や人生により近づき対象理解を広げ深めています。さらに基本的人権や社会保障について考える社会福祉演習を通し、医療人としての立ち位置も学んでいます。

過密なスケジュールの中でも4月から国家試験に向けた取り組みも開始し、提示された課題に真剣に取り組んでいます。夏休みもほぼ休みなく登校し、グループ学習や自己学習に励み、模試では確実にその成果をあげています。

今は1年生を指導する実習に取り組み中で、初心にかえり共に学び、自己の看護観を深めています。これまで、いくつものハードルを仲間と共に越えてきた3年生の成長ぶりは本当にまぶしいほごです。

9月末からは、また次の実習が始まります。クラス目標でもある一期一会を大切に、患者と向き合い、自己の看護観を構築していけるようサポートしていきたいと考えています。

3年生担任 細田江里



# 球技大会 春



# 労働体験



# キャンプ



## 父母の会

～交流深めた2年、3年部会（7月9日）

「精神・経済・学習習慣の3側面から家族のサポートを！」と学校から提起がありました。 雑草祭では父母の手作り豚汁を出します。

7月9日に2年生、3年生の各部会を行いました。全体会、学年別部会、個別懇談と進み、父母同士、教員と父母が学生さんの現状と課題、今必要なサポートを話し合いました。学校の先生から家族の精神的・経済的サポート、自宅学習習慣サポートが大切と話されました。同日の第一回役員会では自己紹介とわが子の状況や親の悩みと期待を語りました。9月17日の雑草祭（あらぐささい）では父母会は材料を持ち寄って豚汁を作ること、学校に寄贈する図書の確認、1年生に戴帽式記念品を、2年生には1月に実習激励の品を贈ること等を決めました。最後に授業中の私語に話が及び、より分かりやすい授業、他者を思いやる訓練、クラス内の支え合う関係作り等、いろいろな提案や意見を出し合いました。先生から授業運営の検討に活かしたいとお話がありました。奮闘する学生達を支える気持ちを固め合った半日でした。



## ◇共立高看 教職員活動報告◇

- 6/11 学内「授業リフレクション」
  - 6/26 第9回山梨民医連学術運動交流集会 口演発表：成島、中込、河西、丸山
  - 8/11-12 第24回(社)日本看護学校協議会学会 口演発表：中込 共同研究参加：押領司
  - 8/27 山梨民医連実習指導者研修会
- (予定：10月 第42回日本看護学会-看護教育-学術集会 演題発表：成島 細田 共同研究参加：押領司)

## あらぐささい 雑草祭

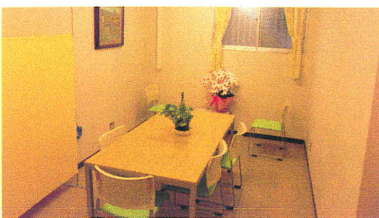
9月17日(土)  
9:00～  
共立高等看護学院  
皆様ぜひ、お出  
で下さい!!



皆様<sup>あらぐささい</sup>「雑草祭」(あらぐささい)にお出で下さい  
雑草祭という年に1回の学院祭を通し、いまか  
ないこの瞬間を、同じ目標を持つ仲間と一緒に、最  
高の時間にするために、「瞬～最高の仲間と最高の時  
間を～」というテーマにしました。授業や実習の忙  
しい中でも、みんなで協力して準備をしてきました。  
1日という短い時間ですが、私たち学院生の普段見  
られない姿を見て、一緒に楽しんでいただけたら嬉  
しいです。

実行委員長中込真衣(2年生)

## 相談室がより明るくなりました。カラー 印刷機・コピー機も設置



一階相談室が明る  
くなりました。(写  
真左)カラーの学習  
資料が安価で短時  
間に印刷できます。  
(写真下)椅子も順  
次入れ替えます。



- |             |                                    |    |
|-------------|------------------------------------|----|
| 8/31～9/15   | 基礎Ⅱ実習(1年生)                         | 予定 |
| 9/16        | 球技大会(楡形体育館)                        |    |
| 9/17        | <b>雑草祭</b>                         |    |
| 9/21        | 精神疾患・地域看護テスト(3年生)精神看護・精神保健テスト(3年生) |    |
| 9/22        | 英語テスト・統計学テスト(3年生)                  |    |
| 9/26～30     | 期末テスト(1年生・2年生)                     |    |
| 9/30        | 後期授業料納付期限                          |    |
| 9/26～12/9   | 老年Ⅱ、成人Ⅲ、地域Ⅱ、精神Ⅱ実習(3年)              |    |
| 10/15       | 高校生推薦入試・社会人入試                      |    |
| 10/24～12/9  | 成人Ⅰ、Ⅱ、小児Ⅱ、母性Ⅱ実習(2年生)               |    |
| 11/12       | <b>戴帽式(1年生)</b>                    |    |
| 12/15、16    | <b>卒業研究発表会(3年生)</b>                |    |
| 12/18～      | 冬季休暇                               |    |
| 12/25～12/27 | スキー(保健体育演習)                        |    |